

## < 講師紹介 >

### ♪ フェデリコ・アゴ스티ーニ (ヴァイオリン・室内楽)

Federico Agostini

フェデリコ・アゴ스티ーニ (ソロ・ヴァイオリン)  
イタリアのトリエステ生まれ。音楽家の家庭に育ち、6歳の時祖父からヴァイオリンの手ほどきを受けた。トリエステとベネチアの音楽院、さらにシエナのキジアナ音楽院で学び、サルバトーレ・アッカルドや叔父にあたるフランコ・グッリらに師事した。16歳でカルロ・ゼッキの指揮のもと、モーツァルトの協奏曲を弾いてデビュー、数多くのコンクールに優勝・入賞し、国際的に輝かしい活動を開始する。I Virtuosi di Romaに在籍後、1986年からは伝説的なイタリアの合奏団、「イ・ムジチ」のコンサートマスターを務める。ソリストとしても世界有数のホールに登場、1987年からローマ・フォーレピアノ五重奏団のメンバーとしても活躍。

ヨーロッパ、アメリカ、日本など、世界各地の国際音楽祭に参加し、室内楽奏者として、ブルーノ・ジュランナ、ジェイミー・ラレド、練木繁夫、ジョゼフ・シルバーシュタイン、ヤーノシュ・シュタルケル、堤剛、渡邊康雄、アメリカ四重奏団、エマーソン四重奏団、ファインアーツ四重奏団、東京四重奏団、グアルネリ四重奏団などと共演。トリエステとベネチアの音楽院で教えた後、ドイツ・トロッシンゲン音楽大学で10年間、アメリカ・インディアナ大学教授を10年務めた。日本、スウェーデン、イタリア、メキシコ、オーストラリア、香港などでマスタークラスを開催、また各地の音楽祭に招聘されている。2012年8月より、ニューヨーク州イーストマン音楽院の教授。2016年には東京藝術大学より特別招聘教授として迎えられた。



### ♪ 吉川 朝子 (ヴァイオリン・室内楽)

Asako Yoshikawa

桐朋学園音楽科高校、大学にて鷺見三郎、マリエ・ホローニョバ各師に学んだ後渡伊、イタリア国立サンタ・チェチーリア音楽院マスターコースにてピーナ・カルミレリ、R・ブレンゴラ、シェリングに薫陶を受ける。在学中よりヴィルティオージ・ディ・ローマ奏者及びサンタ・チェチーリアオーケストラ第1ヴァイオリン客員奏者としてイタリアでの演奏活動を始める。同音楽院創立以来弦楽科初のフルボード及び栄誉賞受賞者として卒業後、ヴェニス・ラフェニーチェ劇場でコンチェルト・ソリストデビュー。帰国後、東京ソリスト・コンサートミスト

スを務め、リサイタル、NHKによるリサイタル放送、室内楽、客員首席奏者等の演奏活動の他、教育にも力を注ぎ門下からは優秀な演奏家が多数輩出されている。ムランダンデ(仏) モンテ・フィアスコネ、ピエディルコ(伊)等欧州の国際音楽祭にて招待されマスタークラスを持つ。92、93年イタリア国営テレビにてリサイタル及びレッスン風景が放送された。CDは「デュオ・セレナーデ」「トリオ・アマティ」がリリースされている。また国内外の国際コンクール審査員を務める。琴科音楽祭音楽監督。



### ♪ 百武 由紀 (ヴィオラ・室内楽)

Yuki Hyakutake

東京芸術大学付属高校を経て、同大学卒業、同大学院修了。井上武雄、浅妻文樹、ウィリアム・プリムローズ、セルジュ・コロエ各氏に師事。在学中芸大オーケストラと「イタリアのハロルド」を協演。皇居桃華楽堂にて新人演奏会出演。1999年まで東京都交響楽団に在籍し、首席奏者を務めた。外来演奏家との共演多数、国内外の音楽祭多数出演。邦

人作品、現代曲の初演も多数手掛けており1999年日本音楽コンクール作曲部門の演奏に対して、審査員特別賞を受賞。カルテット「クワトロ・ピアチェーリ」・東京シンフォニエッタメンバー。第65回文化庁芸術祭大賞受賞。第10回佐治敬三賞受賞。愛知芸術大学教授。桐朋学園大学院大学、東京音楽大学講師。



### ♪ ミケーレ・インノチェンティ (ピアノ・室内楽)

Michele Innocenti

イタリア・トスカナ出身。パリ在住。フィレンツェ・ケルビーニ音楽院にてアントニオ・バッケリに、パリ高等音楽院にてアルド・チッコリーニに、ブダペストのリスト音楽院にてラド・フェレに師事。室内楽をフランコ・ロッシ及びカルテット・イタリアーノに師事する。レンド・オブ・アワード・パリ賞、ストレーサ国際ピアノコンクール、バルドリーノ国際コンクールで優秀な成績を修め、若くしてソロ及び室内楽奏者として演奏活動を始めた。ハンガリーにてブダペスト交響楽団、フィレ

ンツェ、トスカナ等のオーケストラよりソリストとして招待されコンチェルトを共演。またリサイタル及び室内楽コンサートを世界各地で行っている。室内楽ではフランスを代表する奏者たちと共演。その演奏は各地でレコーディング&放送されている。フィレンツェ、ルッカ、モデナ、パリの各音楽院等で教授後、現パリ、モンモランシー・コンセルヴァトワールピアノ科教授。フランスにて優れた教育者に贈られる「C.A」の称号を得る。また数々の国際コンクール審査員として招待されている。



### ♪ 三宅 進 (チェロ・室内楽)

Susumu Miyake

桐朋学園大学で木越洋、安田謙一郎氏に師事。同大学院研究科修了後、米国インディアナ大学にてヤーノシュ・シュタルケル氏のもとで研鑽を積む。帰国後琴科高原音楽祭賞を受賞、新ヴィヴァルディ合奏団、群馬交響楽団首席チェロ奏者、磯弦楽四重奏団チェリストを歴任。又、ウィンシャーマン指揮ドイツ・バッハ・ソリストに参加。海外での公演も多く音楽祭のほか、韓国・ソウルでのリサイタル、中国・

上海、マレーシアでの室内楽、台北での台湾国立交響楽団との共演などいずれも高い評価を受けています。現在は、2013年より仙台フィル首席チェロ奏者として活動する傍ら、ソロ・室内楽、全国主要オーケストラへの首席客演、後進の指導、録音など国内外で幅広い活動を行っている。



### ♪ 古橋 聡美 (メインアシスタント、イタリア語通訳)

Satomi Furuhashi

武蔵野音楽大学卒業後、渡伊。イタリア国立ペルージャ音楽院第二課程を満点で卒業。ヴァイオリンを船津節子、吉川朝子、菅原英洋、奥田雅代、クリスティアーノ・ロッシ、パオロ・フランチェスキエニの各氏に、重奏法をアリサ・ヴァイツネル氏に、室内楽をツォルト・ティバイ、フランチェスコ・ペピチェリ、コスタンティーノ・マストロプリミア

ノの各氏に師事。万里の長城杯国際音楽コンクール第3位。日本クラシック音楽コンクール大学部門入選。又、音楽と並行しイタリア語の研鑽も積み、ペルージャ外国人大学イタリア文化・言語コースC1クラス修了。ピエディルコ国際音楽セミナーのヴァイオリンのクラスの伊和通訳などを担当。



### ♪ 田中 英明 (伴奏アシスタント)

Hideaki Tanaka

第17回かながわ音楽コンクール小学生中学年の部最優秀賞、アジア国際音楽コンクール高校生部門第2位、桐朋学園ピアノコンペティション第2位。桐朋女子高等学校(音楽科)卒業演奏会、桐朋学園大学ピアノ専攻卒業演奏会に出演。伴奏、室内楽において日本演奏家コンクールにて伴奏者賞、桐朋学園第84回室内楽演奏会、ヤマハ音楽支援コンサート、読

売新人演奏会等に出演。これまでにピアノを中澤美紀、加藤伸佳、下田幸二、高橋多佳子の各氏に、室内楽を、久保良治、倉田澄子、藤井一興の各氏に師事。現在、桐朋学園大学研究2年に在籍。三上桂子、竹内啓子の両氏に師事



### ♪ 三宅 麻由 (アシスタント、ピアノ伴奏)

Mayu Miyake

東京音楽大学卒業。第31回、34回愛知ピアノコンクール 二台ピアノ部門 銀賞。第12回北本ピアノコンクール大学生の部 入選。第17回大阪国際音楽コンクール デュオ部門 入選。第33回クラシック音楽オーディ

ションに合格し、新進音楽家フレッシュコンサートに出演。これまでに米谷治郎、渡辺容子、佐藤俊の各氏に師事。現在、板橋区演奏家協会会員。

